

新名神高速道路(高槻～神戸)の開通目標時期の見直しについて

【開通目標時期】
平成28年度末
→平成29年度末



※JCT・ICの名称は、工事中の名称で仮称

【部分開通目標時期】
高槻～川西まで
平成29年秋頃

有馬川橋(上下線): 橋桁降下方法の見直し

○橋桁を吊り上げて降ろす方式から、サンドルにより下から支えつつ徐々に降ろすシンプルかつノウハウの豊富な降下方式に見直し

当初計画(事故前)～受梁を用いた吊り下げ方式～

ステップⅠ(橋桁の送り出し)



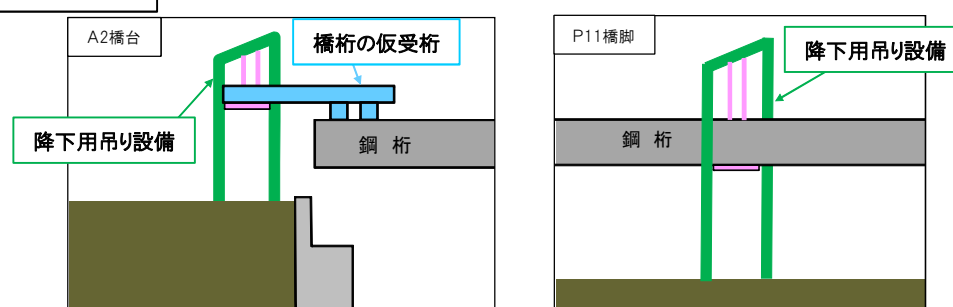
ステップⅡ(橋桁の降下準備)



ステップⅢ(橋桁の降下)

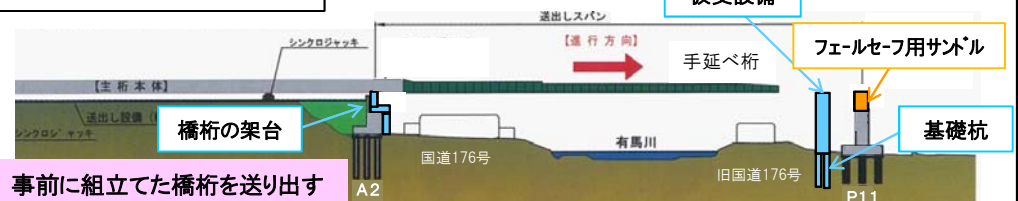


吊り設備

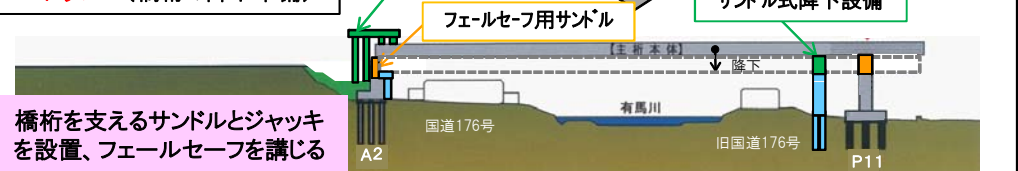


変更計画(事故後)～サンドル方式～

ステップⅠ(橋桁の送り出し)



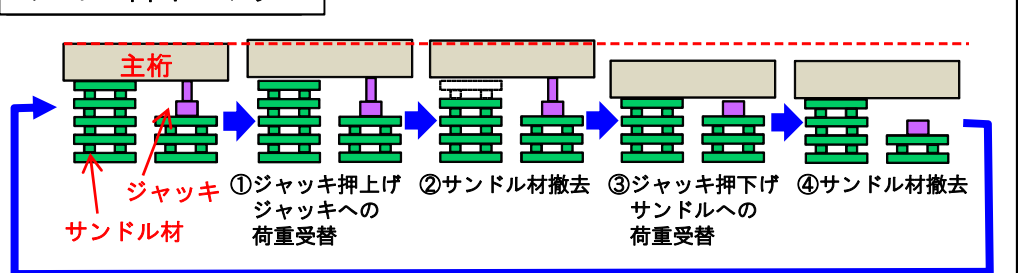
ステップⅡ(橋桁の降下準備)



ステップⅢ(橋桁の降下)



サンドル降下ステップ



原萩谷トンネル(西坑口):地すべり対策

- 工事着手後の継続した地盤調査・計測の結果、安定していると想定していたトンネル坑口上方に滑動中の大規模な地すべりを確認。
- 開通後の長期的安全確保の観点から用地を追加買収し、不安定土塊の撤去、グランドアンカー等の対策工を実施。
- 急傾斜地における危険が伴う作業であり、落石対策等の安全対策を実施しながら施工。

